

事業概要【観光分野から始める三次版スマートシティ「田園都市×デジタル～つながるみよし」の実装】

実施地域 広島県三次市

実施主体 広島県三次市

事業概要

- ・ 広島県三次市では人口減少に伴い産業が衰退、雇用の受け皿の減少、街の魅力減少により更に人口が減少する負のスパイラルが発生
- ・ ICT活用による各種業務の効率化での人手不足の解消、各領域・分野間の連携促進、データ利活用による事業の活性化を図るスマートシティの実現を目指す中、主要な産業の一つで、関連分野が広く今後の展開もしやすい観光分野の取組から実施する
- ・ 現状、来訪客の属性、行動傾向、ニーズ等の把握が不十分のため効果的な情報発信が不足。また来訪客の多くが自動車を利用する中、イベント時等に駐車場が混雑し道路渋滞が発生する課題もあり、本事業では来訪客への情報提供等のサービス提供をしながら、利用者の情報を収集、分析することでこれら課題の解決及び、地域の魅力向上による観光活性化に向けた取組を実施する

取組内容

都市OSを含むスマートシティシステムを構築し、三次市におけるICT活用の基盤を作り、人手不足の解消、各領域・分野間での連携推進、データ活用による事業活性化を目指す。本年度は、観光分野を対象にスマートシティシステム上で以下サービス・機能を実装・運用。

1. 駐車場利用状況表示サービス

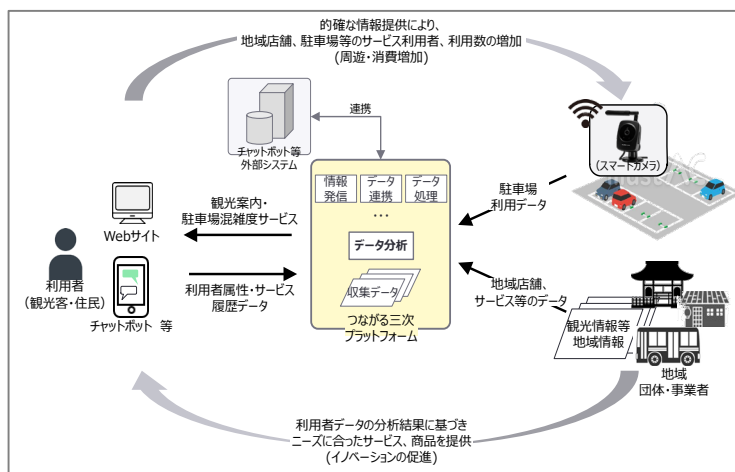
駐車場の混雑集中を回避するため、利用状況の情報発信サービスを実施

2. 来訪客との双方向コミュニケーションサービス

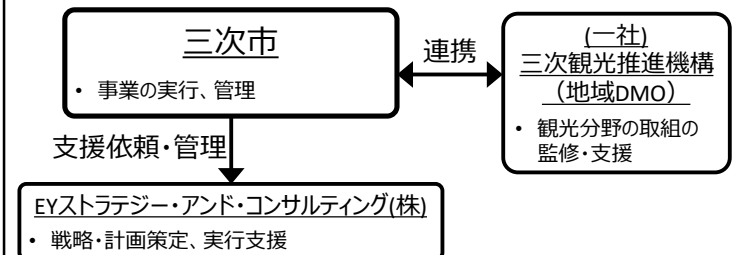
来訪客へ会話形式で観光情報を発信し利便性を向上するとともに、利用者の実態、ニーズ等を把握する

3. データ分析、共有機能

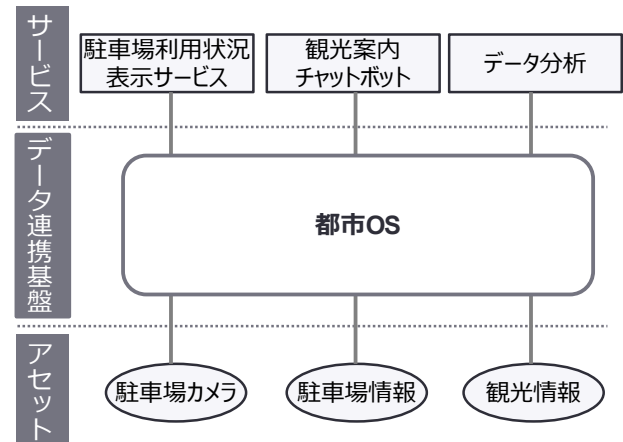
①、②を含め収集データを分析し、地域団体・事業者と共有、活用する体制構築を検討、データに基づき、継続的にサービスの高付加価値化を図ることを目指す



実施体制図



システム構成図



事業概要 【スマート“ライフ”シティ 山口の実現のためのデータ連携基盤整備事業】

実施地域	山口県山口市	実施主体	山口県山口市
事業概要	<p>山口市では、人口減少、少子高齢化などの社会情勢の変化とともに、働き方や暮らし方への意識が変化中、市内21のあらゆる地域に住み続けることができるように、医療・介護や防災、子育て・教育、産業など暮らしにおける様々な分野における課題にスマートシティの推進を通じて対応していくこととしており、令和4年3月に「山口市スマートシティ推進ビジョン」を策定し、「誰もがいきいきと豊かに暮らせる持続可能なまち山口～スマート“ライフ”シティ山口～」の実現に向けた14の重点プロジェクトを推進しているところです。</p> <p>本事業は、スマートシティ推進による地域課題の解決や市民の豊かな暮らしの実現に向け、分野や組織間の連携を可能とするデータ連携基盤（都市OS）を構築するもので、まずは市民全員を対象とした防災分野の取組を進めるものです。</p>		

取組内容

本事業は、新たな価値の創出や、市民に対し、新たなサービスの提供を行い、地域課題の解決や新たな産業の創出を図っていくためのファーストステップとして、**データ連携基盤（都市OS）の構築とデジタルデータ化した情報を活用した防災分野におけるサービス実装を行う**ものです。また、将来的にはスマートシティ推進ビジョンに掲げる、交通や子育て・教育、医療・介護など、生活全般にわたる他分野のサービスへの展開を想定しています。

①地図ダッシュボード

・見たい情報を一覧から選択し、住民に向けて一元的に可視化画面を提供



②住民避難支援ソリューション

・災害発生時に逃げ遅れが発生しないよう住民の避難行動判断を支援する機能を提供

